

# 中世

前期 8° 後半 ~10°

盛期 11° ~13°

末期 14° ~15° 初頭

東西諸教会の聖歌	9° グレゴリオ聖歌集大成 単声 無伴奏	10° トロープス セクエンツィア  オルガヌム モテト コンドウトウス	12° 後半~13° ノートルダム楽派 レオニヌス ペロティヌス  リズムモード・部分構成	アルスノーヴァ ギヨーム・ド・マシヨー  多声宗教曲 多声世俗曲
			11° トゥルヴァドール トゥルヴェール ミンネゼンガー  単声伴奏付き世俗歌曲	トレチェント ランディーニ

モノフォニー

ポリフォニー

教会旋法

# ルネサンス

初期 15° 前 ~ 中

イギリス～ ブルゴーニュ楽派  
バンショワ  
デュファイ

多声宗教曲 ミサ・モテット  
多声世俗曲 シャンソン

盛期 15° 末～ 16° 前

フランドル楽派  
模倣的対位法  
四声の声部書法  
和声の萌芽  
長短音階  
オケゲム  
オブレヒト  
ジョスカン・デ・プレ

後期 16° 中～

バロック様式へ

フランドル楽派の展開  
ヴェネツィア楽派

宗教改革 と 反宗教改革

(ルター)                  ローマ楽派  
コラール                  パレストリーナ

ポリフォニーとモノフォニー

長短音階

# バロック

初期 1580 ~ 1640

中期 1640 ~ 1690

後期 1690 ~ 1730(ロココ様式)

## 声楽

マドリガーレ

オペラの誕生

モンテヴェルディ

オペラ的发展

カンタータ

オペラの変容 18<sup>c</sup> オペラ

## 器楽

リュート等撥弦楽器

鍵盤音楽

ヴィオール属のコンソート

バロックソナタ

ソロソナタとトリオソナタ

コンチェルタート様式

コンチェルト・グロッソとソロ・コンチェルト

バッハ

ヘンデル

ヴィヴァルディ

対位法・フーガ

部分構成 : 連続と非連続 ・ 二極性

ジャンル・形式の混在

演奏形態と即興性

## 古典派

前古典派	1730 ~ 1770
ウィーン古典派	1770 ~ 1800
ロマン派へ	1800 ~ ベートーヴェン

啓蒙主義 ~ 市民革命  
古典主義(ギリシャ・ローマ)  
合理主義 ~ 楽観主義

楽節構造と楽曲形式  
拍節構造とリズム  
機能と和声

## ロマン派

初期ロマン派	1800 ~ 1850
後期ロマン派	1850 ~
世紀末	1890 ~ 1920

ロマン主義 と「芸術」  
自然  
社会  
民族  
etc.

部分構成 : 非連続

ジャンル・形式の確立  
演奏形態の確立

部分構成 : 連続性 ~ 無限性

ジャンルの多様化・形式の拡大と崩壊  
演奏形態の拡大と縮小